レッスン：PYR 96

テーマ：現在のパーソナリティーの関係

PYR 96 KE09 No.Seml/11/08

私の姉妹、兄弟たち

スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。

　レッスンの中で創造界の元型、つまり創造のセルについて述べてきました；そして説明したようにそれは創造界全体を調和の中に保つ骨組みです。それは最大のものの骨組みであり、同時に最小のものの骨組みです；それは創造界の最大の法則であり、その中に他のより小さな法則があります。また現在のパーソナリティーに関する法則もあります。

　この元型（＊生命の木）において、それは一番下の（＊下向きの）大きな三角形です。いわゆる現在のパーソナリティーの三角形と呼ばれ、それは一番上にあるアウタルキーにおける絶対存在の三角形と同一です。汎宇宙的キリストロゴスの三角形はアウタルキーにある絶対存在の三角形と底辺が共通の下向きの三角形で、その頂点は下向きで、上から2番目の長方形の真ん中に到達しています。それは元型・イデア・法則・原因の諸世界を意味し、その中には4つのヘブンがあり、そこではLifeはその本質を完全に現しています。それらは存在の諸世界であり、実存の世界ではありません。

　これらの諸世界では全ては全ての中にあり、全ての現れはLifeの本質を完全に現しています。なぜなら、完全に活性化された体を使用しており、それは勿論、元型である人間のイデアフォームと同一です。そして創造の諸世界においてLifeがその本質を現すためには、手段としてこのフォームが必要であり、それを通じて表現され、それ以外ではLifeの本質を完全に現すことはできません。

　もう皆さんはわかっていると思いますが、**創造界の目的は絶対存在、絶対存在のワンネスの多重性の中で、モナドセルフがその多重性のなかでそのモナドの個別性を現すことです。**それは存在の諸世界のなかでは達成不可能です。なぜなら、魂のセルフエピグノシスとしてのモナドセルフはまだ完全にLifeの本質を現しているからです。それは全ての魂のセルフエピグノシスが同じ体、元型であるイデアフォームを使用していることを意味します；それゆえにそれらは皆同じなのです。

　もし皆さんが一つの魂のセルフエピグノシスに“あなたは誰ですか？”と尋ねると、彼等の返事は“神のワンネスの多重性のなかの一つのモナドです”とは言わず“私は神です”と答えるでしょう。なぜなら多くの神が存在するのではなく、神は一つだからです、そして私たちは神を量として見るのではなく、質としてみます。

　ですから、上に述べた仕事は存在の諸世界では達成することは不可能であり、それらの波動では適していません；そして説明したように、マインドのより低い波動、実存の諸世界があります、そして魂のセルフエピグノシスの微細な部分が実存の諸世界に入り、そこにはノエティカル界とサイキカル界があります。

Page2

　ですからそれらの存在の諸世界のスパークはman-expressionと呼ばれるもう一つの現れを現し、それがいわゆるアダム＆イブです；そしてその現れは再び人間の元型のフォームを使用します。ですから、この現れもまたLifeの本質を完全に現しており、それはLifeの現れです。そして何であれLifeの現れはLife*です*。しかし、まだ仕事は達成されていません。ですからこの現れは惑星上で現される必要があり、それゆえに勿論二元性の能力があります…アダムとイブという異なった性を持っていても。

　ですから、この現れは最初はいわゆる高次ノエティカル体を使用します。Lifeおよび同時に魂のセルフエピグノシスである存在の体はノエティック体です。ノエティック体と高次ノエティカル体は両方ともマインドの同じ波動、つまりスーパーサブスタンスですが、それらは異なった体です。

　そして今、前に述べたように仕事が達成されるためには、アダム＆イブというこの現れは、アダムとイブという別々の体として現されて、制限ある現れの中に入る必要があります。そして勿論、性別の分離は惑星上において4つのエレメントを使用して聖霊的に築かれた体を通じて表現されます。サイコノエティカル体というフォームはその現れを使用するために表現され、サイコノエティカル体は惑星において聖霊的に築かれた体を使います。ですから今や、man-personalityではなくてpresent personality-man　があります。そしてman、人と言う時、それは両方の性、女性と男性を意味します。

　ですから。現在のパーソナリティーがあり、そのサイコノエティカル体は（それが現在のパーソナリティーなので）球体をしています。このようにして現在のパーソナリティーがスタートし、そのサイコノエティカル体は聖霊が築いた肉体を使用します…その惑星の4つのエレメントを使用して、それ自身をその惑星上で現します。そして勿論、肉体には骨組があり、それは聖霊によって活性化されていて、全ての人間が同じ形をしています。しかし、細かな特徴に関しては全ての人間が同じというわけではありません。しかし全体的には、その身体は元型である人間のイデアフォームの構造と同一です。

 いまや肉体があり、それはこの元型に近い形ですが、それは現在のパーソナリティーの体ではなく、現在のパーソナリティーを意味しません。**現在のパーソナリティーはサイコノエティカル体です、なぜなら現在のパーソナリティーとは思考および感情・気持のあり方以外の何ものでもないからです。**これが現在のパーソナリティーなのであり、肉体がそうなのではありません。

　そしてその結果として、現在のパーソナリティーは今や二元性の意味の中にいます。なぜなら現在のパーソナリティーは二元性を現しているからです、思考の仕方は二元性の結果です。なぜなら思考とは当時に、問いと答えの両方だからです。そしてまた意味を創り出すことも二元性の結果です。なぜなら、私たちは実存のこれらの波動の中に生きており、私たちは二元性によって周囲、世界を理解しているからです。もし何らかの理由によって二元性が停止したなら、人間は植物のようになってしまいます。

　ですから現在のパーソナリティーは、空間と時間の意味の中における活動の結果として何らかの経験をしており、それらの経験の結果、現在のパーソナリティーはいわゆる個別性を現しています。なぜなら、この創造界において全く同じ経験を重ねている現在のパーソナリティーが2人いるということはないからです。それでは個別性（individuality)とはなんでしょうか？個別性とはまさに、それらの体験を経る結果として、他の誰かの“私であること”とは異なる“私は私である”と言うことができる、ということです。

　さて、多くの転生の結果として現在のパーソナリティーが達成することは不定形の諸体の再形成であり、それは数多くの様々な転生の結果として、Lifeそれ自体からより多くを現すようになる結果です。どれ程多くの転生でしょうか？非常に多数回、人々が考えることができる以上の回数です。人間がこの地球上に初めて物質化した時から…なぜなら人間の最初の下降は物質化だったからです…地上ではLifeの王国としての他の全ての現象は既に存在していました。巨大な哺乳類、恐竜達が人間と共存していたということを歴史家や考古学者達は信じませんが。しかし、実際はそうだったのです。なぜなら何であれ地上にあること、それは人間に体験を与えるためだからです。人類、人間に体験を与えるという目的がないならば、この地上に何かが存在する理由はありません。

　Page3

　ですから皆さんはこの地球上にどれほど前から人間が存在していたかを想像できると思います。ですから、最初の転生から自己実現に到達するまで、つまり現在のパーソナリティーがman-personalityに戻り、そしてLifeの真の現れとなるまでには無数の転生が必要となります；どれほど多くの転生の回数だか想像できますか！ですから、この地球上における人類の年齢は非常に長く、そしてこの地球上における人類の平均的レベルは、現在まだほぼ真ん中のステートです。レッスンで述べたように､2番目のサイクルの真ん中に近いポイントです。現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルは現在のパーソナリティーの法則であり、それは下向きの大きな三角形によって示されています、つまり生命の木の一番下にある三角形です。

　ですから、この大きな法則、つまり大きな三角形のなかで、そこには他の5つのより小さな法則があります。そしてそれらの法則は現在のパーソナリティーの5つのサイクルです。ですから地球上における人類の平均的な気づきのレベルは現在、2番目のサイクルの真ん中に非常に近いポイントに到達しており、中には2番目のサイクルをマスターして3番目のサイクルに入っている人もおり；中には4番目のサイクルに入っている人もおり、レッスンで述べたように4番目のサイクルをマスターすると自動的に5番目が加えられます。

　さて、最初のサイクルは本能意識的意識のセルフエピグノシスであり、2番目のサイクルは潜在意識的意識のセルフエピグノシス、3番目のサイクルは意識的意識のセルフエピグノシス、4番目のサイクルは超意識的意識のセルフエピグノシス、それが終了すると勿論5番目が自動的に加わります。なぜなら5番目は今や自己実現したパーソナリティーにその体を与えるからです。なぜなら、それが5番目のサイクルをマスターしたことを意味するからです。つまり5つの真の感覚を使う代わりに同調の能力が与えられるのです。なぜなら自己実現した現在のパーソナリティーは高次ノエティカル体を使い始めるからです。その体は現在のパーソナリティーの中に残されていたもので、最初はアダム＆イブによって使用された体です；それは勿論全ての人の内側にあり、現在のパーソナリティーがそれを再び使用するようになるのを待っているのです。しかし現在のパーソナリティーとして使用するのではなく、（＊今や自己実現したので）personality-manとして使います。この体は全ての人の中にあり、それは私たちの中にあるLifeのスパークの体と同一であり、そのスパークの真の現れです。しかし高次ノエティカル体はそのスパークとはまだ同化しません。それは完全に再形成されたサイコノエティカル体（それは自己実現に到達した最後の現在のパーソナリティーによって再形成された体です）の中にあります。その理由はサイコノエティカル体が再び使用されるからです、なぜならその現れは同胞の人間達を助けるために引き続き転生のサイクルに留まるからです。

　いかなる惑星においても、自己実現した人間がpersonality-manとして現しているLifeのスパークに戻り、入り、同化する人は一人もいません。なぜなら別の役割があるからです；つまり引き続き転生が続くということです。そしてその惑星上の全人類が自己実現し、その星が自己実現した惑星となっても、創造界の中にある他の惑星上、他の太陽系、他の銀河系における星の人間達に奉仕するのです。その現れのレベルではもはや距離、意味は存在しません。そして勿論、それ以降も他の仕事がありますが、今はそれについては話しません。

Q：不可視のヘルパーたちは常に再形成されたサイコノエティカル体なのですか？

K：そうです。**自己実現した現在のパーソナリティー達だけが不可視のヘルパーとなります；**つまり彼等はキリスト意識を現していて、内側からイエスキリストロゴス、神を現し始めたのです。初めは現在のパーソナリティーは主、神のアイコンであり、勿論現在のパーソナリティーの目的はこのアイコンを破って、主の似姿になること、主の真の現れとなることです。

Q：なぜ絶対存在はスピリットモナドセルフの個別性を黙想して、私たちが経なければならないこれらのことを避けることができなかったのかご存じですか？

Page4

K：それは絶対存在の黙想です。それが創造界およびそれ自身の中における神の現れなのです。それは神がそれ自身の中にある現れです；それは終わりなき神の黙想の結果です。創造界と現れそして何であれ進行中のもの、私たちはこの神の黙想の活動の中における粒子です。Lifeの主な特質の一つは活動、動きです、そして私たちには活動があり、その結果があります；ですから私たちはその結果なのです。それが生じていることです。

　しかしそれ自身のアウタルキーにある神には何か必要なものがある、と考えるべきではありません。進行中のこれら全ての動き、活動は実際、現在のパーソナリティーを助けるためなのです。

Q：パーソナリティーはサイコノエティカル界に移行しても引き続き助けが得られるのですか？

K：私たちが（＊肉体を去って）サイコノエティカル界に入ると、私たちの目的は次の転生の準備をすることです。サイコノエティカル界に移行する現在のパーソナリティーはそのことに（＊死んだことに）気づかず、それゆえにまだ肉体のなかにいるかのように振る舞います。しかし多くの違いがあります。なぜなら、そこに移行したパーソナリティーは創造エーテルを使って自分自身の周囲、パラダイスとして自分自身の世界を創造します。なぜならそのパーソナリティーは何であれ自分を喜ばせるものを創造し、痛み、苦しみをもたらすものは創造しません。その目的は、何であれ苦しみ、痛みを現在のパーソナリティーが後にすることであり、それは次の転生の準備のためです…つまり過去のあらゆるネガティブなことを後にするということです。

　覚えておくべきことは、その人の現れがどのレベルにあろうとも、全ての人の内側には神がいるということです。それゆえに、目の前に誰かがいる時、その人の現れがどうあろうとも私たちは目の前で神と向かい合っている、と言っているのです。しかしだからといって、何であれその人の現れを受け入れるべきだということではありません。しかし、私たちはそのパーソナリティーを抱きしめ、導き、もちろん助けるべきです。

　さて、不可視のヘルパー達、彼等はこの実存の波動の中で助けますが､同時にサイコノエティカル界にいる現在のパーソナリティーをも助けます…そこにいる人々の次の転生のために準備をするときに。人々の痛みを背負うことによってその人の痛みを軽減し、主の名前において十字架に掛けられる役割をする不可視のヘルパーがいます。またサイコノエティカル界においていかなる痛みも背負うことはしないが、そこで人間を導くヘルパーもいますが、だからといってそれらのヘルパーがそこに永遠に留まるわけではありません。いずれにしても時間というものは存在しませんが、しかしそのようなヘルパー達も自己実現した後に人々を助けているのです。

Q：あなたは最初の転生におけるアダム＆イブは物質化される、と言いました。それは人間の身体が進化成長のプロセスを経ないということですか？

K：勿論、動物から進化することはありません。人間には内側に神があります。惑星上に初めて現れる人間達は物質化されます、同じ事はLifeの他の全ての現象に関しても同じことが言えます。それらは物質化されます。

Q：聖霊的に築かれるのではないのですか？

K：築かれると言う時、それらは物質化されたということです。

Q：違いがありますか？

K：物質化において、あなたは築きます。物質化は築くために創造エーテルを使用する結果です。聖霊が創造エーテルを使い、築くのです；ですからそれは全く同じことです。

　今でもあなたはそうと認識せずに創造エーテルを使用しています。勿論、**自己実現するとあなたは創造エーテルを使うことができ、アークエンジェルのオーダー達のように築くことができるようになります。それは絶対存在のダイナミックな現れであり、聖霊です。**あなたはアークエンジェルとして、創造界の他のすべてのアークエンジェルのオーダーと同じように機能するのです。もしそうしたければ動物を築くこともできます。そしてその動物をあなたのLifeの息吹によって活性化させるのです。

Q：不可視のヘルパーはこの波動のなかで（＊物質界で）助けるためには肉体が必要だと言いましたが、それは彼等が多くを背負うことを意味します。そしてそれら全ての痛みは、ただ私たちが神から分離していることの証明となるのですか？

K：痛みとは何でしょうか、それは現実の何かでしょうか？それは意味です。もし2人の人間を同じ状況に置くとすると、彼等はそれぞれその同じ状況を、それぞれ別々に異なって理解することでしょう。おそらく、一人はその状況を快適だと感じ、もう一人は悪いと感じるでしょう。それは理解の問題です。

Page5

　ですから私たち各人は痛みを、それぞれの理解のレベルに応じて理解するのです。もし私たちが何であれ創造した痛みの結果を無視するなら、いいですか、私たちはこの意味を経験することはないでしょう。それは（＊痛み）は意味であり、リアリティーではありません。私たちの内側の否定性が体験､レッスンを与え、Lifeそれ自体からもっと現すことができるようにさせるのです。

　結局、私たちは動物とあまり違わないような現在のパーソナリティーからスタートしますが、しかし私たちの内側には思考というディバインの贈り物、Lifeというディバインの贈り物があります。しかしその現在のパーソナリティーはLifeの真の現れではありません；その現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーとしてLifeによって活性化されたのです。しかし内側にはLifeがあり、また内側には自己実現の時に使用することのできる体があり、その体はLifeの本質を再び完全に現すことのできる能力を提供します。

　“動物”に近い最初の転生から神のレベルに到達するのは簡単だと思いますか？現在でも大部分のシステム（＊様々な霊的なグループ）、宗教でさえもヘブンのレベルを人間が理解できるレベルに貶め、低めて考えています。そしてそれらのレベルはLifeの本質と比べるなら、地面の中、土の中、墓の中にいるのと同じようなレベルです。

Q：あなたは痛みは意味であると言い、ですから霊的なヒーラーが痛みを取り去る時、それは実際には痛みの意味を解消するということになるのですか？

K：違います。それは意味を提供する痛みの原因を背負うということです。原因が意味を与えます。それが霊的ヒーリングの違いです。霊的ヒーラーは薬とは違い、結果ではなく原因に触れます。

Q：誰かが墓のなかで生きていて、自分自身の意味を生きています。その人にとって痛みといような意味を無私することは不可能です。

K：よくわかります。それゆえに助ける人がいるのです。そして霊的ヒーラーは痛みを背負うことができると言う時、それは霊的ヒーラーが原因結果の法則に逆らうということではありません。霊的ヒーラーは自分の体重を計りに載せて、そして何であれ主の名前で行います。そしてそれが神の慈悲への介入です。

Q：しかし、もし私たちが経験を得ることが必要な場合には、痛みを体験する必要があり、そしてまた喜びをも；それ故になぜ不可視のヘルパーが私たちの痛みを軽減する必要があるのですか？

K：その理由は戻って来る距離を短くするためです。軽減され得る痛みとは、さらなる経験を与えない痛みです。コップ一杯の水にとって、コップが満杯になるにはほんの数滴の水で足りるかもしれません。しかし、例えばもし誰もあなたを助けてくれない時、あなたは時にはさらに何回かより多くの転生を必要とするかもしれません。しかし不可視のヘルパーはコップ一杯の水に自分の重さを置いたのです、つまり数滴の水を入れたのです。もしあなたが助けなしに結果を経験したからといって、それがあなたにより多くの体験をもたらし、より多くのレッスンを学ぶことができたというわけではありません。ですからそのように働くのです。痛みを軽減すると言う時、それは原因結果の法則が許す時です。そのようになっています。

Q：この軽減は高次の波動を許す法則という形で来るのでしょうか？その結果私たちがそれ以上の痛みを経験する必要がないように。

K：違います、不可視のヘルパーはあなたの気づきのレベルを高めることはしません、それはそのパーソナリティーが達成すべきことです。人生における全ての良いことは、一生懸命に努力した結果であるべきです。プレゼントとして与えられるものはなく、あなたは努力する必要があります。エレメンタルが助けるために創造され、その現在のパーソナリティーを導きます；しかしそれはそのエレメンタルがあなたの気づきのレベルを高めてくれるということではありません。

　エレブナに属する全ての探求者には一つのエレメンタルが常に傍らにいます。そしてそのエレメンタルはその現在のパーソナリティーを導き、守ります。そしてもし一つのエレメンタルがヒーリングのために特別に創造された場合、そのエレメンタルは癒しという結果に向けて、常にそこに留まり助けるでしょう。それゆえに、私たちはヒーリングを何回も繰り返し依頼する必要はない、というのです。なぜならそのエレメンタルは最初の瞬間からその目的のためにそこに留まるからです。それは一般的には現在のパーソナリティーの健康（＊肉体、感情、思考の健康）のためです。

　私たちはそのヘルパーは十字架に掛けられると言いますが、十字架に掛けられると言う意味は、４つのエレメントによって築かれた肉体の痛みを背負うという意味です。生命の木における十字は人間のイデアからの下降を意味します；十字のシンボルはイエスキリストロゴスよりも前から神秘家達によって永劫の昔から使われてきました。このシンボルには多くの象徴が込められています。

Page6

Q：私たちがレッスンを学ぶと言うとき、真に価値あるものを学ぶということを意味するのですか？なぜなら私たちには何が上で何が下かわからないからです。

K：時には正しい、正しくないとみなされるものは意味であり、意味は変化します。昨日正しかったことが、今日は正しくないかもしれません。善と悪の意味の両方が変化します。そしてパーソナリティーは絶対善、つまりLifeの本質、アガピに向けて推し進められていきます。

　それゆえに、私たちは皆さんが過去を振り返るべきではないと言っているのです。そして私たちはいわゆる過去生退行を認めていません。皆さんは、現在では受け入れられていない別のレベルにおける意味と共にある自分を見ることになります。それゆえ、決して過去生の中を見るべきではないのです。それは非常に間違っています；残念ながら、催眠を通じて人を過去生へと退行させる精神分析者達がいます。それは大いに間違っています。

　精神分析医は何が現在のパーソナリティーに問題をもたらしているのかを見ることができるべきです。なぜなら何かがその現在のパーソナリティーに問題を生じさせているなら、それが表面にあることを意味しています。そして精神分析医の努力とは、その人に問題を生み出しているものを下の方に押し入れることです、海の下の方に、つまり潜在意識のなかに。なぜなら、何であれ問題をもたらすということは、それが表面に浮いていることを意味するからです。それは深い所から表面に出てきて、浮いているのです。精神分析医はそのような能力を持つべきです：つまり過去から何が浮上していて、現在のパーソナリティーに問題をもたらしているのかを見ることができる能力が求められます。心の表面に別のものを置くことによって、それまで上に浮いていたものが下に押し下げられるのです。

Q：私たちは部屋の中で多くのエクササイズを行いました。見て、私たちが本当に部屋の中にいることを感じ、そして今突然その部屋はもはや私の周囲にはなく、それは私の内側にあると考えるべきです。それが私にとって問題となっています。

K：私たちが内側と言う時、現在のパーソナリティーとしてではなく、Lifeのスパークとしてそれはあなたの内側にあるのです。部屋があなたの内側にあるのみならず、創造界全体が全ての人の内側にあるのです。なぜなら､全ての人の中にあるLifeのスパークは神だからです。そしてすべては神の中にあります。そして創造界は何であれ神であるものの微細な部分です。創造界はあなたの内側におけるLifeのスパーク、神の創造です。それはディバインの黙想の活動です。神はずっとずっと大きなものです。

　**神は私たちの内側にあり、同時にあらゆる所にあります。しかし現在のパーソナリティーはそのスパークと同調して、内側にある神とは何で*ある*かを知ることができません。しかしそれはあらゆる所にあり、私たちの内側にあるのです。同時に物質の原子という最小の中にもあるのです。**

　最初は、それは私たちがそうであると考えるより大きくはありませんが、しかし同時にそれは物質の原子の最小のものよりも小さくはありません。ですから、神は*あり*、あなたはそれをいかなる限界のなかにも置くことはできません。勿論、私たちの内側には人間の頭脳では理解できない何かがあります；誰も一人ではなく、皆さんは決して一人ぼっちだと感じるべきではありません。**神はあなたの内側に存在し、多重性の能力と共に、あなたは自分の同一体を無数に創造し、つまり現すことができるのです。**

　**皆さんが自己実現に到達するとそれが可能となります。自分のヒポスタシス（＊現れている状態）をいくつでも創造することができ、それら全てのあなたの体はオリジナルの体なのです。**Lifeは拡大し、いくらでも多くの同一体を纏うことができます。ですから、多重性のステートにおけるワンネスとしての絶対存在です、しかしその多重性におけるモナドセルフですら多重性の能力があります。**不可視のヘルパー達は同時に、多くの場所でそれ自身を現すことができます。そしてその一つ一つは他とは異なる仕事を行うことができ、そしてそれ自身を別々に物質化することも可能です。**

Q：このレクチャーの最初に、あなたは創造の元型について述べ、そして直ちに元型である人間のイデアフォームについて話しました。そして今私はいくらか混乱しています。なぜなら、創造の元型はあらゆるところにあり、最小のなかにも最大のなかにもあります。元型である人間のイデアフォームは人間だけのためです。なぜなら、他のフォームはLifeの本質を完全に現すことはできないと言いました。しかしそれはどのフォームですか？

Page7

K：人間のイデアフォームは人間のイデアだけのためではありません。それはまたLifeの本質を完全に現すLifeの全ての現れのためであり、またアークエンジェルのオーダーのためのものです。元型である人間のイデアフォームはそのフォームを、創造の諸世界におけるそれら全てのLifeの現れに与えています；イエスキリストロゴス、いわゆる天人はこの元型である人間のイデアフォームを与えています。

　残念ながら、キリスト教会ですらなんであれイエスキリストロゴスの真の栄光を讃えておらず、同じ事は勿論　Widest of Heavens（最も広大なヘブン）についても言えます。彼等はこれら２つの現れを本来あるべき様には讃えていません。イエスキリストロゴスは創造の諸世界のなかで、そして特に実存の諸世界において現れている絶対存在です。それは全ての人間を活性化するLifeの海です。

Q：元型である人間のイデアフォームを持っていないのは何ですか？

K：動物界は持っていません；動物はアークエンジェルによって創造されたものです。しかしLifeの他の全ての王国も創造されたものであり、それらはLifeの息吹によって活性化されました。

Q：それらは創造の元型、骨組み、人間のイデアフォームがないのですか？

K：彼等の肉体を築く物質の原子、例えば原子にはありますが、形としてではありません。もし形を持つとするなら、人間の体の形を持つことになります。そしてもしアークエンジェルが人間の身体を築くなら、その体は特定のアークエンジェルの質を現すことでしょう。そしてエンジェルがいますが、それらもまたディバインの仕事を行うエンジェルとしてプログラムされています。

　ですから、そのようになっています、それによって現在のパーソナリティーが、内側にはLifeがあるにもかかわらず、Lifeの本質を現さないようにです。なぜならば、現在のパーソナリティーは最初は元型である人間のイデアフォームと同一の体、つまり天人の体と同一の体を使わないからです。**そして現在のパーソナリティーである私たちの目的は、この不定形の諸体を再形成するためにワークすることです。そしてそのワークとは気づきのレベルを高めるための努力です。つまり、Lifeそれ自体からより多くを現すように努力するということです。**

　イエスキリストロゴスは六芒星を形成する、下向きの三角形によって示されています。ですからイエスキリストロゴスは実存の諸世界における人間としての神であり、そして神ですがLifeの海をも意味し、その海の滴はすべて現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークです。ですから私たちの内側にはイエスキリストロゴスがあり、Lifeがあります。しかし人間は肉体を持つ必要があります…それによって十字架に掛けられるために。つまり痛み、苦しみを経験するために。最愛のお方はそれを私たちに見せてくれました。彼は道を示しただけでなく、自己実現に到達する道を示したのです。彼は自己実現への最短の道を示したのです。

　勿論、彼は例え話で話しました；特に彼は農夫と鋤の例え話で話しました。もし農夫が可能な限り出来るだけ速く仕事に到達することを望むなら、農夫は鋤をしっかりと手に持ち、脇見をせず、後ろを見ることもなく、前をしっかり見る必要があります。なぜなら、脇見をしたり、後ろを見るなら、鋤はあちこちにふらふら動き、目的達成への距離はずっと長く、困難なものになるからです。

もちろん、皆さんは経験的知識を持たずに多くのことをレッスンで聞いていますが、次のような確信を持つ必要があります…何であれ皆さんに与えられたことはある程度まで心の中に入っていますが、しかしその体験がありません。重要なことは体験に基づいた知識であり、体験があれば誰もそれをあなたから奪うことはできません。皆さんはそれを目指すべきです、しかしそれが現実になるためには忍耐が必要であり、その間、皆さんはLifeそれ自体からより多くを現すようにする必要があります；毎日の生活において他の同胞の人間達の助けになるように生きる事をスタートすべきです。

Page8

レッスン PYR96 エクササイズ No.1

　目を閉じて静かに座ります…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分を見ます…自分の形の境界を感じ、同時に純白の五芒星のなかで守られている自分をみます…あなたは真っ白です…そして同時に純白の五芒星のなかで守られています…

　あなたは今、四面ピラミッドの中央に立っています…目の前のサイドから白い輝きが来ています…あなたは四面ピラミッドのそのサイドから来る純白の輝きに面しています…右手には赤のサイド…後ろにはホワイトブルーのサイド、そして左側にはウルトラバイオレットの輝きのサイドがあります…４つの色の輝きがあなたの周囲にあり、それらは四面ピラミッドの４つのサイドから来ています…

　それでは四面ピラミッドの中に三面ピラミッドのヒポスタシス（状態）を置き、あなたは三面ピラミッドの角に面しています…あなたは三面ピラミッドの２つのサイドから形成される角に面しています…右側のサイドはホワイトピンク、左側のサイドはホワイトブルーのサイド、そしてあなたの後ろにある３番目のサイドは金色です。

　ですから、あなたは同時に三面ピラミッドの中にいて、その三面ピラミッドは四面ピラミッドの中にあります…次に五面ピラミッドのヒポスタシスを与えます…ここでもあなたは５面ピラミッドの２つのサイドから形成される角が正面にあります…床では正面の三面ピラミッドの角と五面ピラミッドの角が一致していますが、しかしそれらの角の角度は異なっています…

　五面ピラミッドの全てのサイドは同じ色です…床に近い部分は輝きのない白で、頂点に行くに従い、どんどん白の輝きが増してきます…一番上の方はあまりに輝いているので銀色に見えるかもしれませんが、それは白です…てっぺんはとても輝いています…

　さてあなたは今同時に、五面ピラミッド、三面ピラミッドそして四面ピラミッドのなかにいます…一番大きいのは勿論四面ピラミッドで、他の２つは四面ピラミッドの中にあります…それらは大きなピラミッドです、なぜならあなたは同時に純白の五芒星の中で守られていて、それに包まれていながら、同時に五面ピラミッドと三面ピラミッドの底面の中央に立っているからです…

あなたは同時にそれら３つのピラミッド全部のヒポスタシス、及びそれらのサイドの色を努力なしに見ることができます…

　あなたはこれら３つのタイプのピラミッドをマスターすることができるようになることを願います…それぞれのピラミッドは実際、それぞれの法則を意味しています…もう一度、それら３つのピラミッドをマスターできるようになることを願い、そしてそれらをマスターする結果として、他のピラミッドそれは一面ピラミッド、円錐ピラミッドですが、それが提供しているものを現すことができるようになることを願います…

　あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います…最愛のお方のアガピと祝福があなたと共に、あなたの愛する人々と共に、そしてあなたの家庭と世界全体にあることを願います…私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。終わります。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

何であれ皆さんに与えられること、それは２番目のサイクルを後にすることが出来るように皆さんを準備するためであり、２番目のサイクルをマスターするのに必要なことを得るためのものです。それによって強くなり、向き合い、つまりLifeそれ自体からより多くを現すことができ、リアリティーと向き合うことができるようになるためです。リアリティーと言う時、それは相対的リアリティーですが、それは２番目のサイクル内のイリュージョンとしての相対的リアリティーよりもずっと高いものです。なぜなら、**３番目のサイクルの中では徐々にゆっくりと皆さんは真の感覚を使用するようになるからです。**あなた方は自分の指をリアリティーに置くことが出来るようになるでしょう。つまり、皆さんはいわゆる現象を生きることが可能になるのです。

EREVNA PYR 96 KE09 No.3 SI 11/08